

築庭400年記念展示 縮景園と近世広島の絵画

2020年10月1日(木)－12月24日(木)
2階所蔵作品展内(第3室)

[開館時間] 9:00～17:00 (金曜日は19:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜日 ※特別展会期中・祝日・振替休日を除く ※11月9日(月)は展示替えのため閉室
[入館料] 一般510円／大学生310円 ※20名以上の団体は一般100円、大学生60円引き
[縮景園共通券] 一般610円／大学生350円 ※特別展は別料金
※高校生以下無料 ※当館で開催中の特別展入館券にて無料でご覧いただけます。
※障害者手帳をお持ちの方や65才以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料(1階総合受付でお申し出ください)。

名勝縮景園は、元和6年(1620)、広島藩主浅野長晟が上田宗箇に命じて作らせた大名庭園です。現在は昭和18年(1943)の名勝指定時の図面にに基づき、戦災被爆から復興、維持管理されています。

築庭400年を記念して開催する本展示では、現在の縮景園に結びつく江戸時代中期(天明)の大改修事業を主導した浅野重晟、その近習で自らも縮景園に関与のあった岡岷山、広島藩後期の狩野派絵師として知られる山野峻峯斎らの絵画作品を厳選し、縮景園を創りあげた文化風土の在り様を紹介します。また、縮景園のイメージソースとされた西湖、名勝指定前の縮景園を描いた作品なども取り上げます。

県内外に所在する作品を通して、広島県の歴史文化への理解を深め、今日に受け継がれる縮景園の美を再発見していただければ幸いです。

関連イベント スライドトーク

縮景園築庭400年を記念して、縮景園や近世広島の美術について解説します。

日時：10月24日(土) 15:00～(1時間程度) 開場14:30

講師：隅川 明宏(当館学芸員) 場所：地階講堂(定員200名)

※要事前申込【Tel.082-221-6246(当館)】※聴講無料



岡岷山 仏法僧園 明和3年(1766)
広島県立美術館蔵



高屋肖哲 泉邸写真園 昭和3年(1928) [右隻]和歌山 無量光院蔵 [左隻]広島 明星院蔵